

英語授業の **きほん** の「き」

(その1)

英語授業の**きほん**の「き」では、

授業の基本的なことについて、みなさんからの質問などに回答したり、解説したりしたいと思います。そんなことは**当たり前!** と思うこともあると思いますが、再確認する機会にしてほしいと思います。

今回の質問は、

Q 教科書の本文の音読は、いつ行うのがよいのか？

本文の内容を確認する前か？ 本文の内容を確認した後か？

A 本文の内容確認の **後** です。

理 由

中学校学習指導要領外国語編には、言語活動の「読むこと」として次の5つの項目があげられています。「読むこと」

- 1 文字や符号を識別し、正しく読むこと。
- 2 **書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。**
- 3 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- 4 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。
- 5 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

音読については、2番目に、「その内容が表現されるように音読すること」と書かれています。

解説書には、以下のように説明されています。(p.15)

音読は、黙読とは異なり、声に出して読むことであり、書かれた内容が表現されるように音読するためには、語句や文、まとまりのある説明文、意見文、感想文、対話文、物語などの意味内容を正しく理解し、その意味内容にふさわしく音声化する必要がある。例えば、対話文やスキット等においては、登場人物らしく強く読んだり、弱く読んだり、声の大きさを変えて読んだり、読む速さを変えたりするなど、感情豊かに表現し合ったりすることである。

「黙読」・・・内容を理解するために行う活動

「音読」・・・内容確認後に、内容を表現するために行う活動

となります。

